

中国自動車部品企業の省エネルギー推進に向けた調査研究

(報告書の概要)

本報告書では、今後ますます発展し環境負荷削減が強く求められていく中国自動車部品産業の省エネについて、その現状と課題および日本との関係をまとめた。また、自動車部品工場における省エネのポイントおよび、日本の優れた省エネ事例を整理し、省エネマニュアルとしてまとめた。

中国自動車部品企業には、製造工程におけるエネルギー消費量を大きく削減できる余地がある。企業の生産性向上だけでなく、大気汚染の改善など環境対策にも非常に優れた効果をもたらし、コスト削減にもつながる。

しかしながら、昨今の自動車産業の急拡大に伴い、生産設備増強への投資が優先され、省エネ対策に意識とコストを回す余裕がないのが現状である。このような時だからこそ、生産設備の新設・更新のタイミングで、日本の既存の省エネ技術（設備・ノウハウ）を導入することは企業にとって非常に効率的である。このような産業構造の変化の中で、日本の役割は大きい。

(報告書の主要構成)

- (1) 中国政府の第11次5カ年計画期における省エネ政策動向
- (2) 中国自動車部品企業の省エネ
- (3) 省エネルギーマニュアル
- (4) 中国自動車部品産業の省エネルギーが日本の温暖化対策に及ぼす影響